

2026年度 酪農学研究科 修士課程 第2期入学試験問題  
(必修： 家畜管理学 )

**【出題の意図】**

ふん尿処理の本来の目的は循環利用を図ることである～その具体的な実践例を挙げて簡潔に説明せよ。

ふん尿処理には様々な方式があるが、その本来の目的は循環利用を促進することであり、そのことを実践例で説明できる能力を求めている。循環を損ねるような処理の仕方では、環境に負荷を与えるだけでなく、経済的にも損失があることを理解する。

「乳牛哺育センター」または「乳牛預託牧場」について、その概要と利用する利点を簡潔に述べよ。

健康な後継牛を育成し、子牛の死亡・廃用率を下げることで、利益の向上につながることを理解する。哺育・育成など仕事の一部を専門機関に外通することにより、酪農家は忙しさから解放され他の仕事に従事できるメリットがあり、総合的に利点が高いケースが多いだけでなく、地域の機関に委託することが地域経済の活性化にもつながることを説明できる能力を求めている。